

知っているのと知らないでは大違い！

飲食店の軽減税率対策セミナー

～ 軽減税率を飲食店経営の追い風にしよう！～

Credo税理士法人

Credo 税理士法人は、「飲食店専門NO.1」を目指す税理士法人です。
繁盛店への道を共に歩むパートナーとして、あなたの夢の実現をお手伝いさせていただきます！

Credo税理士法人
代表税理士 水野剛志



私たちは、飲食店の経営者を総合的にサポートできる、唯一の飲食店専門の税理士法人であると自負しております。

- ✓ 飲食店に適した**豊富な節税ノウハウ**
- ✓ スマホから売上・預金などを確認できる**経営管理の仕組み作り**
- ✓ 多店舗展開を実現する**資金調達力**
- ✓ 売上・利益アップを実現するチラシ・POPなどの**販促物の作成支援**
- ✓ 他社の**成功事例**や**飲食パートナー企業のご紹介** など..

メディア実績

取材: NIKKEI, 住信SBIネット銀行

イベント: FOODIT TOKYO 2017

執筆: 飲食店経営で成功するための「お金」のことがわかる本 (水野剛志)

セミナー: MFクラウド会計

展示会: ネットワーク経営の傾向とチャンスフェア2017

コラム掲載: KaikeiZine

飲食店経営で必要とされる「**お金**」の知識がわかる！「**お金**」に焦点を当てた飲食店経営の解説本！これから**飲食店を開業したい方**、すでに開業しているけれども**経営に不安を抱えている方**へ！

飲食店専門税理士が教える

飲食店経営で 成功するための 「**お金**」のことが わかる本

Credo税理士法人代表 水野剛志

開業時の資金調達、食材の原価管理、
通帳の活用方法、効果的な節税対策……etc.

具体的な事例を
ベースにした
成功へのノウハウが満載！

日本実業出版社



- ✓ 「儲かる」ための魅力的な店舗コンセプト作り
- ✓ 開業時に潤沢な資金を調達する方法
- ✓ 店舗経営時の具体的なお金の悩みとその対処法
- ✓ 損をしない節税方法と公的資金の活用の仕方
- ✓ 成長を加速させる金融機関との付き合い方

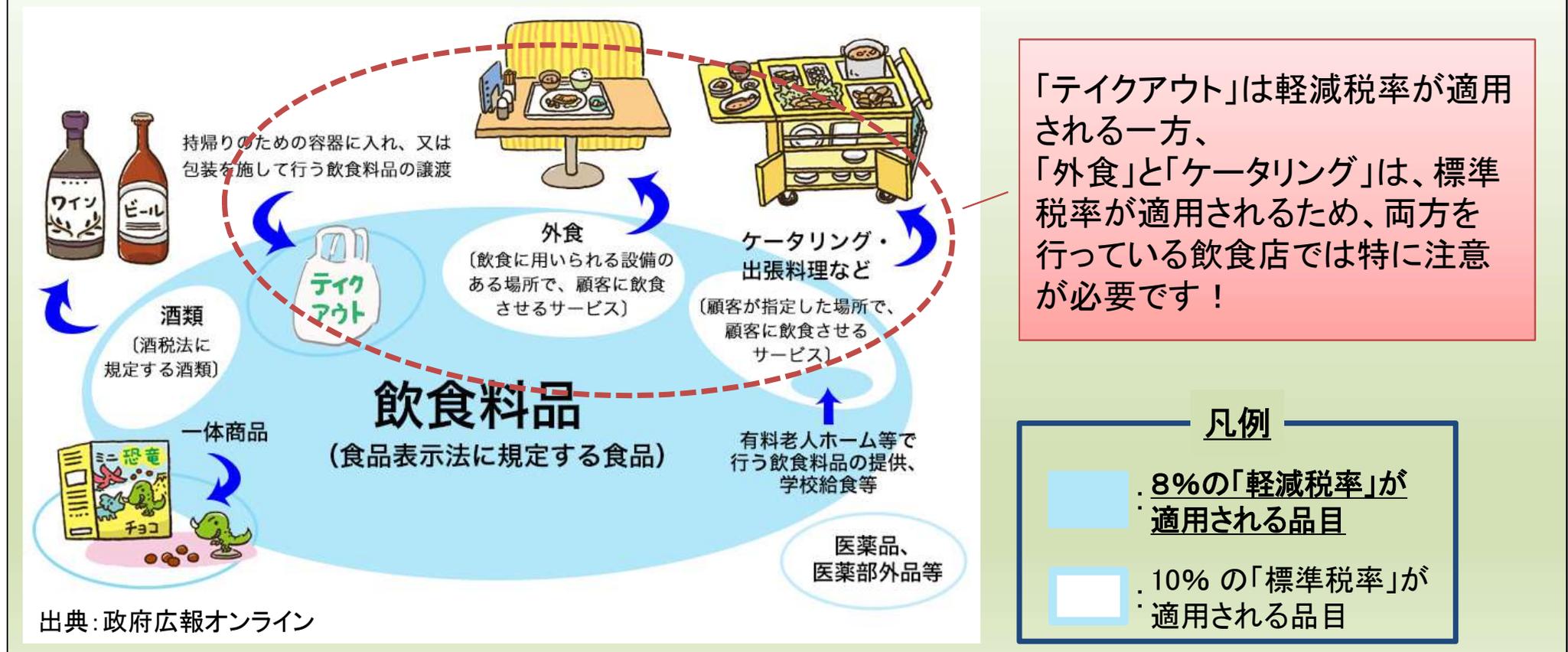
…… etc.

**2019年2月7日より、
全国の書店にて発売！
定価:1,500円+税 248頁**

1-1. 消費税の軽減税率とは！？

- 軽減税率制度は消費税が増税となる2019年10月1日から実施されます。
- この制度は、飲食料品を取り扱う全ての事業者に影響のある制度です。事前に情報収集をしっかりとって直前に慌てないように準備しましょう。

軽減税率の対象となる飲食料品のイメージ



食品表示法（第2条）

「食品」とは、全ての飲食物(医薬品、医薬部外品及び再生医療製品を除き、添加物を含む)をいう。

1-2. 軽減税率の対象となるもの・ならないもの

- 標準税率(10%)が適用される「外食」とは、テーブルや椅子などの飲食設備がある「場所」で飲食させる「サービス」と定義されております。
- 同じ商品を販売しても税率が異なるケースが発生します。標準税率と軽減税率の線引をしっかりと理解しましょう。

標準税率(10%)を適用

軽減税率(8%)を適用

ファーストフード・コーヒー店の『店内飲食 / イートイン』		ファーストフード・コーヒー店の『テイクアウト』
そば屋・ピザ屋の『店内飲食』		そば屋の『出前』 ピザ屋の『デリバリー』
寿司屋の『カウンター飲食』		寿司屋の『出前』・『おみやげ』
屋台やフードコートでの『椅子での飲食』		屋台やフードコートでの『販売(持ち帰り)』

1-3. 軽減税率が飲食店に及ぼす影響とは？

- 軽減税率は、「① オペレーション」、「② 経理処理」、「③ 資金繰り」へ大きな影響があります。対象商品の販売がないお店でも、対策が必要です。

影響がある項目	何も準備をしないしていると...	必要な準備と対策(例)
<p>1 オペレーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お会計の時に、8%と10%が混在した伝票を電卓で計算することに... • 適用すべき税率を間違えてしまい、お客様からクレームが... 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 複数税率に対応しているレジを導入し、操作方法を教育すること ✓ アルバイト従業員も、商品の税率の”線引き”を把握しておくこと ✓ 税率を的確に表示しておくこと
<p>2 経理処理</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 売上や仕入の税率を正しく記録して無かったので、決算や確定申告の時に全部の書類を見直すことに... 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会計ソフトなどの帳簿に、売り上げた商品や、仕入れた商品の税率(8%・10%)を区分して記録しておくこと
<p>3 資金繰り</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 手元にお金が増えたと錯覚し、消費税額を聞いてびっくり。こんなに払えない... (食材の仕入は8%だけど、売上は10%なので、手残りは一時的に多くなる) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営状態を把握して、納税額を予測し、計画的に貯蓄をしておくこと

2-1. 軽減税率を飲食店経営の追い風にしよう

- 軽減税率をうまく活用し、飲食店経営の追い風にする事で、儲かる飲食店を目指しましょう。

軽減税率は儲かる飲食店になるための好機です！

①：原価や人件費が高騰しているが、他店の動きもあるので、商品の値上げができなかった・・・



メニューの値段を見直す好機

軽減税率により、多くの飲食店のメニューブックが変更になります。このタイミングで値段を見直せば、お客様からの評価はあまり落ちません。

②：レジの機能が進んでいるのは知っているが、値段が高く、レジの買替えができなかった・・・



レジを買替え、経営に有効活用する好機

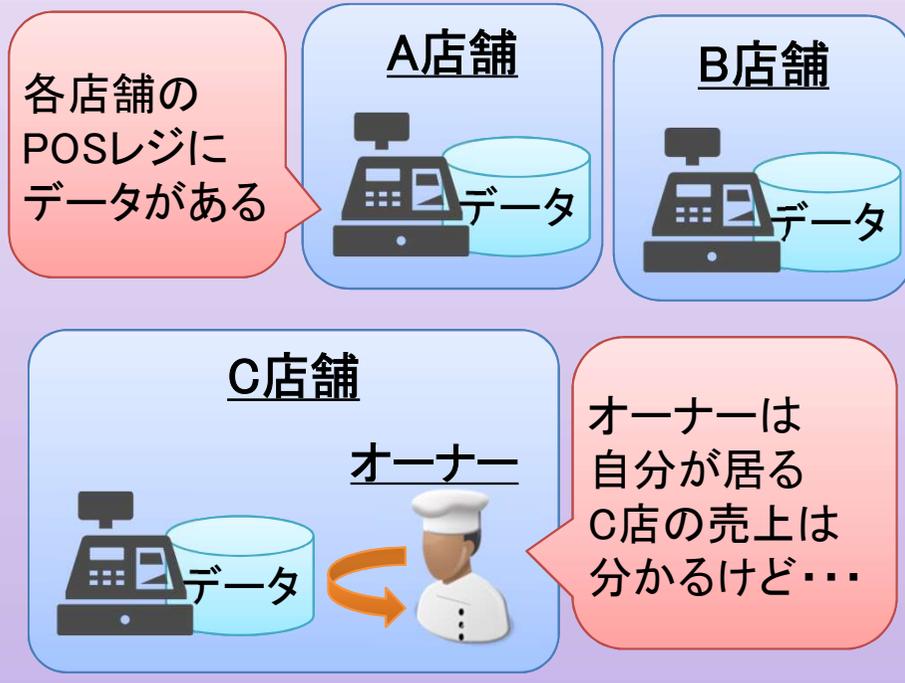
複数税率に対応するレジに買替えを行うことで、20万円前後(補助率3/4以内)の補助金がもらえます。

2-2. クラウドPOSレジを活用しよう<場所の壁>

- 複数税率に対応するレジを導入する場合、おすすめなのがクラウドPOSレジです。
- クラウドPOSレジを使えば、離れた場所においてもデータはクラウド上にあるため、リアルタイムで全員が同じ情報を共有することが可能となります。これにより、店舗が増えても経営者の目が行き届くようになります。

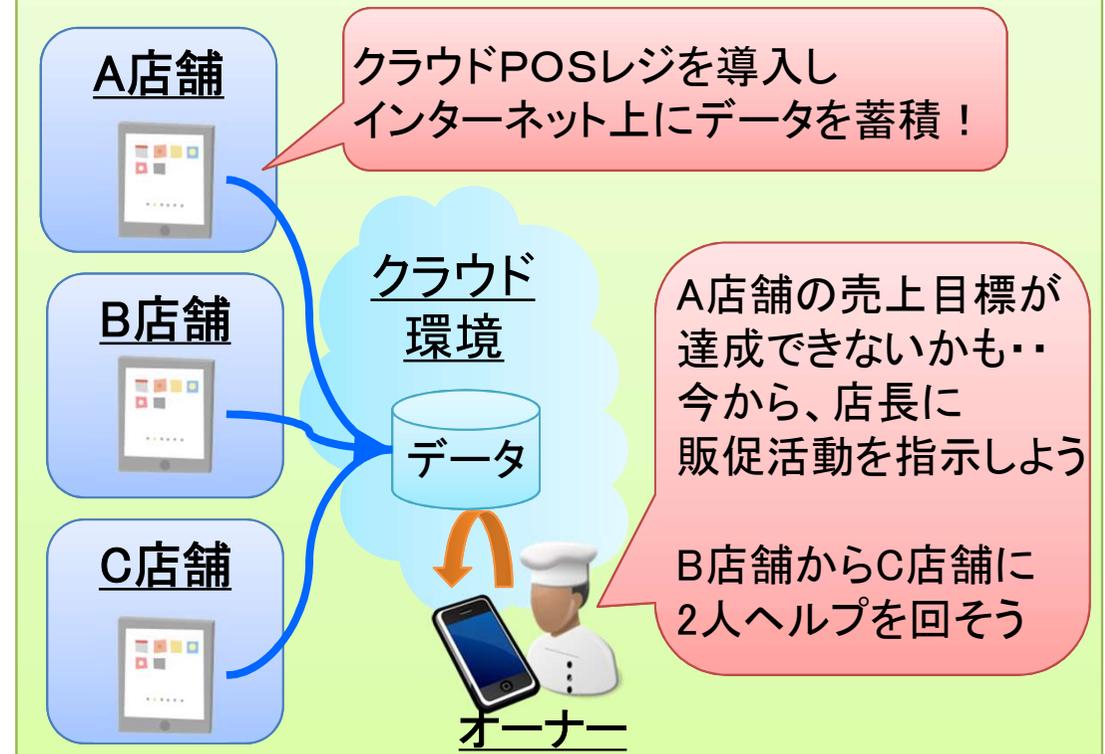
従来のPOSレジ

- ✓ 各店舗のPOSレジにデータが集約されるため、実際に店舗に行かないと状況がわからない
- ✓ 営業後にレジを締めないとデータがわからないこともある



クラウドPOSレジ

- ✓ クラウド上にデータがあるため、スマホを使えば、どこからでもリアルタイムに情報が把握できるため、的確な指示も出せる！

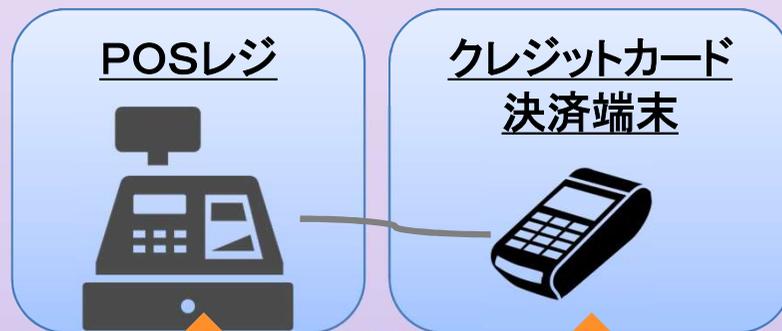


2-2. クラウドPOSレジを活用しよう<手入力の壁>

- クラウドPOSレジを使えば、データがクラウドにあるため、同じくクラウド型のクレジットカード決済、会計、予約台帳などのデータ連携が可能になります。これにより、それぞれで二重入力していたことが一度の入力でよくなります。

従来のPOSレジとクレジット決済

- ✓ レジで売上金額を入力し、再度クレジットカード決済用の端末にも入力が必要
- ✓ 二重入力の手間だけでなく、入力ミスによるクレームトラブル、売上と入金額の不一致による入金トラブルが起こりうる



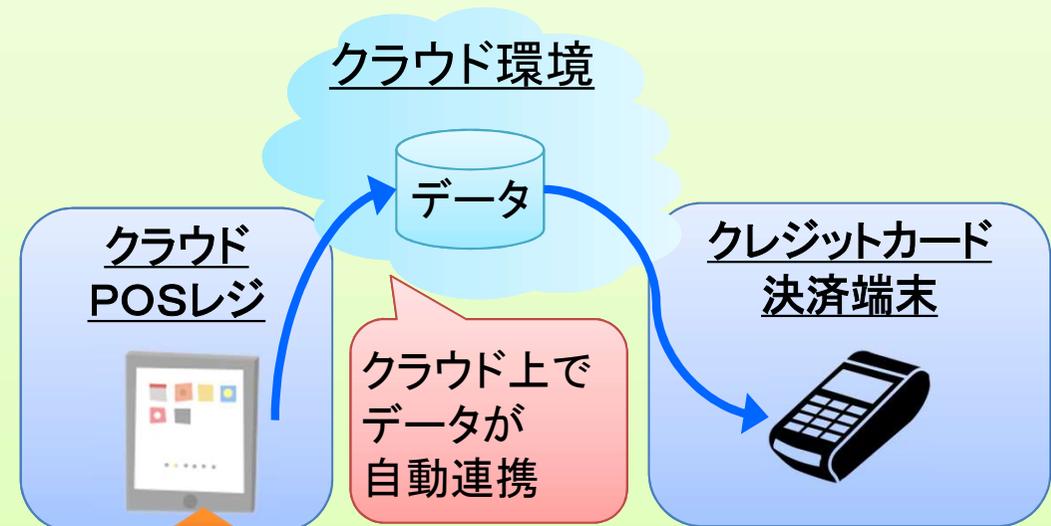
アルバイトスタッフ

POSレジに売上を入力してから…
クレカ端末でもう一回入力…

入力2回で
ミス多発！

クラウドPOSレジとクレジット決済

- ✓ 連携しているため、入力は一回だけでOK！
- ✓ 入力ミスも減るし、お会計のスピードもUP！



アルバイトスタッフ

クラウドPOSレジに
売上を入力すれば、
クレカ端末では入力不要！

入力ミスが
大幅削減！

2-2. クラウドPOSレジを活用しよう<ABC分析>

- クラウドPOSレジは従来のPOSレジよりもメニュー設定などが簡単であるため、売上と粗利によるクロスABC分析を行うことで、商品戦略を見直すことに活用できます。
- 軽減税率が始まる2019年10月は商品価格を見直す絶好の機会です。ABC分析を活用して、儲かる飲食店を目指しましょう！

